

バイオ基礎実験

新たな学生実験室が完成！

応用バイオ科学科の新しい学生実験室がC6号館4階に完成しました。5月26日には第一回目の実験として微生物学基礎実験が行われました。大腸菌や枯草菌といった微生物を染色し、一人一台の顕微鏡を使って観察します。実験の操作や注意などは、各実験台に設置されているディスプレイで示され、観察した画像はコンピュータに取り込み、各自レポートやプレゼンテーションで使用できるようになっています。初めての顕微鏡の扱いに苦労しましたが、細菌の鮮明な画像にピントを合わせることができると歓声があがりました。6月2日には環境化学基礎実験と食品化学基礎実験も開始し、着々と前進しています。



新しい実験室



細菌の染色



顕微鏡観察



画像取り込み中

プレゼンテーション

バイオ基礎実験の総仕上げとして7月7日、14日の両日にプレゼンテーションが行われました。バイオ基礎実験で行った5つの実験からひとつを選び、発表に先立ち要旨を作成します。発表はPower Pointを使って、教員と学生の皆さんの前で発表します。この「実験→要旨の作成→発表→質疑応答」という流れは、卒業研究そして学会発表と同じ流れです。今後のプレゼンテーションにおいても何度も繰り返し訓練して身につけていくことになります。



生月俊也さんの発表

はじめてのクラス会開催！



クラス会風景

去る6月20日に1組が、また6月27日に2組がそれぞれ初のクラス会を開催しました。場所は共に4月に新しくできた情報学部棟12階のレストランで行われました。ニクラスとも、何人かの学生達が音頭をとって、自らレストランと交渉したり、飲み物を購入したり、また手作りのポスターを作成するなど、アットホームな雰囲気いっぱいでした。当日はクラス担任の教員をはじめ、バイオ科学科の教員も加わり大いに盛り上がりました！入学して早3ヶ月。学生同士や、また教員も含めての交流がさらに深まって有意義な会であったと思います。



1組



2組

高校生が本学で実験

県立座間高等学校サイエンス・パートナーシップ・プログラム (SPP)

神奈川県立座間高等学校は、サイエンス教育に力を注いでおり、独立行政法人科学技術振興機構のSPPに採択されました。SPPの一環として本学科から岡部勝教授が「環境」についての講義を座間高校で行い、6月24日には高校生22名が本学を訪れ、新しい実験室で「ミジンコ」を用いて洗剤や農薬の毒性を調べる実験を行いました。初めて見るミジンコや実験器具に興味を持って取り組んでもらうことができたと思います。また、洗剤やシャンプーなどは私たちが使用している濃度よりはるかに低い濃度で、ミジンコに悪影響を与えてしまいます。このような実験結果から、自分たちの身の回りの環境について考えてもらいたい機会になることを願っております。10月には、松本邦男学科長が微生物や酵素の利用に関する講義を行い、再び本学で実験を行う予定です。



岡部教授による実験の説明



実験風景



ミジンコを捕まえる



SPPに参加した座間高校の皆さん、先生と岡部教授

留学生紹介

タイ国費留学生

テップチャック アヌサラーさん

応用バイオ科学科のテップチャック アヌサラーと申します。国費留学生としてタイから参りました。「あらゆるステップに成功がある」という言葉を信じて、あらゆることにチャレンジしてみたいと思っています。日本の大学で勉強するという選択は、私の一つのステップとして大成功だと思います。本学科でバイオの技術や知識などを学び、たくさん友達を作り、いろいろな経験をしたいです。授業が始まってから本学科の先生たちには大変お世話になっています。また友達も明るくて友好的で、楽しい学科だと思います。将来の夢は、本学科で身につけるバイオの知識を使って、研究者として仕事に従事したいと考えています。成功するまでの道のりはまだ長いですが、頑張りたいと思います。



分子構造を3Dで体験 コンピュータプログラミングⅠ

コンピュータの基本的な操作技術の習得を目的とする「コンピュータプログラミングⅠ」。7月からは化学式を入力することで、その物質の立体構造を計算し表示することができるソフト「Chem3D」の実習を行いました。このソフトは専用の3Dメガネを使用することにより、分子構造をさらに立体的に実感できます。つまり前に出ている分子は画面から飛び出して見え、自由に移動、回転させたりすることも出来ます。早速、化学式を作製し「バイオ基礎実験」のプレゼンテーションに利用する学生もいました。今後も積極的に利用してゆく予定です。

